

平成 27 年度 新宿区夏目漱石コンクール応募要項

1 名称

平成 27 年度 新宿区夏目漱石コンクール

(1) 読書感想文コンクール (中学生の部・高校生の部)

「わたしの漱石、わたしの一行」

(2) 絵画コンクール (小学生の部)

「猫になって描いてみよう ～わがはいはネコである～」

2 主催

新宿区・新宿区教育委員会

3 後援

(地方自治体) 東京都教育委員会、千代田区、文京区、熊本県、熊本市、阿蘇市、玉名市、
松山市、伊豆市、鎌倉市

(大学) 早稲田大学、東北大学

(地域団体等) 新宿区町会連合会、公益財団法人新宿未来創造財団、
夏目漱石・記念年実行委員会

(企業) 朝日新聞社、朝日小学生新聞、朝日中学生新聞、(株)岩波書店、(株)新潮社、
(株)紀伊國屋書店、一般社団法人新宿区印刷・製本関連団体協議会

4 応募資格

1 (1) は全国の中学生、高校生

1 (2) は全国の小学生

5 趣旨

新宿区は、夏目漱石が生まれ育ち、その生涯を閉じたまちです。区では漱石生誕 150 周年にあたる平成 29 年 (2017 年) の開館を目指して (仮称) 「漱石山房」記念館の整備を進めています。夏目漱石を知り、その作品に触れる機会を創出するとともに、(仮称) 「漱石山房」記念館について情報発信し、開館後の事業展開につなげるため、募集対象を若年層 (小学生・中学生・高校生) に絞り、全国規模でコンクールを実施します。

6 応募方法

(1) 読書感想文コンクール (中学生の部・高校生の部)

「わたしの漱石、わたしの一行」

ア 対象図書

夏目漱石の作品 (作品の指定なし)

イ 感想文の内容

夏目漱石の作品を読み、自分の心に深く残った「一行」を選び、なぜその一行を選んだのかを表現してください。

「一行」は文章のひとつだけとし、一文に限りません。また必ずしも一行に収まらなくても良いこととします。また、本文の一人称はコンクール名称の「わたし」に限定しません。

日本語で書かれ、未発表で筆者自身のオリジナル作品に限ります。

ウ 原稿用紙の枚数

400 字詰め原稿用紙 2 枚半～3 枚もしくはそれに準じたもので 1,000～1,200 字以内で書いてください。また、縦書きとしてください。

エ 応募用紙

所定の応募用紙に必要事項を記載し、応募用紙を作品の一番上に添えて右肩をホチキス止め、または最終ページの裏に貼付してください。応募用紙はチラシ裏面のもの（コピー可）またはホームページからダウンロードして使用してください。

(2) 絵画コンクール（小学生）

「猫になって描いてみよう ～わがはいはネコである～」

ア 絵画の内容

自分がネコになったつもりで、あるいはネコの気持ちになって、「猫の目から見た世界」を絵画として自由に描いてください。夏目漱石作品を読んでいなくても良いこととします。

イ 規格

八つ切りサイズ（27cm×38cm・縦横自由）の画用紙を用いてください。画材（鉛筆、色鉛筆、クレヨン、絵の具、マジック、サインペンなど）で手描きしてください。立体的でない貼り絵、切り絵、版画も可。八つ切りサイズの画用紙以外の作品やデジタル作品は対象外です。額装はしないでください。

ウ 応募用紙

所定の応募用紙に必要事項を記載し、作品の裏面にはがれないように貼付してください。応募用紙はチラシ裏面のもの（コピー可）またはホームページからダウンロードして使用してください。

(3) 共通事項

ア 募集期間

平成 27 年 6 月 22 日（月）～平成 27 年 9 月 17 日（木）（当日必着）

イ 応募方法

学校単位でのとりまとめ、または個人単位で事務局あて郵送してください。

※持ち込み不可。

応募は一人一通までです。他コンクールに応募済みの作品は応募できません。

ウ 応募先・お問合わせ

新宿区夏目漱石コンクール事務局

※読書感想文コンクールは、「わたしの漱石、わたしの一行」係

※絵画コンクールは、「猫になって描いてみよう～わがはいはネコである～」係

〒100-8505 東京都千代田区内幸町 2-1-4

電話 03-6910-2498 受付時間 平日 10 時～17 時（土日祝日を除く）

エ その他

応募用紙に記入漏れなどの不備があった場合、受付できない場合があります。

応募用紙に記入した内容に虚偽が認められた場合や応募条件を満たさない場合、受賞を取り消す場合があります。

7 審査方法

(1) 一次審査

事務局が指定するものが一次審査を行い、二次審査に進む上位作品を選定します。二次審査に進む作品数については、作品応募状況により審査委員と協議して決定します。

(2) 二次審査

新宿区が選定した審査委員長及び審査委員が作品を審査し、各賞を決定します。

審査委員は以下のとおり。

	わたしの漱石、わたしの一行	わがはいはネコである
審査委員長	嵐山 光三郎 (作家)	
審査委員	中島 国彦 (早稲田大学文学学術院教授)	藪野 健 〔 府中市美術館館長 日本藝術院会員 〕
	久保庭 健吉 (日本国語教育学会常任理事)	南口 清二 (一般社団法人二紀会理事)
	吉住 健一 (新宿区長)	
	酒井 敏男 (新宿区教育長)	

(3) その他

審査は部門ごとに行います。読書感想文は中学生と高校生に分けて審査し、それぞれの入賞者を決定します。絵画は小学生を低学年（1・2・3年生）と高学年（4・5・6年生）に分けて審査し、それぞれの入賞者を決定します。

8 表彰

(1) 各賞

最優秀賞 /小学生（低学年）・小学生（高学年）・中学生・高校生 各1人

優秀賞 /小学生（低学年）・小学生（高学年）・中学生・高校生 各5人程度

佳作 /小学生（低学年）・小学生（高学年）・中学生・高校生 各10人程度

※副賞として賞品（図書カード予定）を贈呈します。また、応募者全員に参加賞を贈呈します。

※応募状況によって、入賞者の数を調整します。

(2) 入賞者の発表

入賞者には、10月下旬以降に通知します。入賞者以外への通知は省略します。

学校単位でとりまとめて作品を提出した場合、入賞者の発表は学校を通じて行います。なお、個人単位で作品を提出した場合でも、同一校から複数名応募があった際は、入賞者の発表は学校を通じて行います。

受賞の権利は他人に譲渡・換金することはできません。

(3) 表彰式

平成27年12月（予定）

※夏目漱石記念施設整備プロジェクトのイベント内で実施

(4) 旅費等経費

表彰式の出席に係る一切の経費は、原則受賞者負担とします。

9 その他

入賞作品は新宿区ホームページに掲載するほか、入賞作品をまとめた作品集を作成し、配布予定です。また、(仮称)「漱石山房」記念館オープン時、記念館内に掲示予定です。

応募作品の著作権は主催者に帰属します。

審査結果にかかわらず、絵画の応募作品は新宿区がPRのため使用する場合があります、その際デザインや編集の都合上、絵のサイズ変更や絵の部分的な使用、絵のタイトル等を絵の上に掲載するなど一部変更する場合があります。また、印刷により実物とは色合いが多少異なる場合があります。

読書感想文は返却しません。絵画は希望に応じて着払いでのみ返却します。(関東 1,000 円程度)ただし、入賞作品は、(仮称)「漱石山房」記念館内に掲示予定のため返却しません。

応募用紙に記入した個人情報は、主催者及び事務局が適切に管理し、受賞者発表、参加賞の発送、受賞者への受賞通知及び賞品の発送以外には使用しません。ただし、本公募展の実施・運営に関わる作業等に際して、情報を開示することがあります。また、入賞者の氏名、学校名、学年等は広く一般に公表します。